

第 26 回 人の感性に届く作品づくりを目指したい

～ H! P44 号で漫画学校紹介 ～

H! P 第 44 号（神奈川新聞社 7 月 3 日発行）の記事「漫画学校紹介」で、本校を紹介する漫画を描いた 3 年韓さんに話を伺いました。

H! P (<http://www.kanagawa-shimbun.jp/hip/>) は、神奈川県内の高校生に広く配られているものですが、この作品を作成するきっかけは何だったのでしょうか。



中学時代からの友人の M さんが、高校生記者をしていて、今回、光陵高校が選ばれて誰に依頼しようかというときに、私が絵を描いているのを知っていた彼から依頼の話を受けました。光陵高校には、漫画を描くのが得意な人もいるので、自分でいいのかなと思いましたが、せっかくだいた話なので、やってみようと思いました。

光陵高校を紹介するというので、まわりの友人にも、何をアピールしたらいいかと相談しました。いろいろと考える中で、体育祭の応援団でここまできっちり練習するというのは他校にはないことだと思い、応援団のことを取り上げました。

いただいた紙面は 1 ページですが、その中で起承転結をどう組み立てるかや、クスッと笑う要素をどこかに入れたいとか、きれいになったトイレのことも盛り込みたいなどと考えた成果です。

作品の制作にあたって、苦労したのはどんなところですか。

本来なら 4 月に担当の方にお会いして、専用の紙を提供してもらおう予定だったのですが、コロナ禍の状況で、それが叶わず、不本意でした。

自分自身はキャラクターを表現するのはあまり経験もなく、得意ではないのですが、時代のニーズとしてはこういう絵を描くことも必要だと思い、いい機会なので、練習をして取り組みました。何度描いても、完全に納得がいくというのは難しいのですが、自分に声をかけてくれたということに応えたいという思いもありました。いずれにしても、表現をする機会をいただけたことはありがたいと思っています。

自分が目指している道そのものではなかったとしても、いただいた機会を活かして、自分の成長につなげていこうとする姿勢は素晴らしいものがあると思います。

ところで、将来はどんな道を目指しているのですか。

今は油画に取り組んでいて、大学も絵画科を目指しています。卒業後も油絵を描き続けていくかどうかはわかりませんが、自由なところがいいと思っています。最終的には、美術に関することに幅広く取り組み、美術のおもしろさを通して、人の感性を動かしてい

たいと思っています。そのためにはどういう方法があるのかを追求していきたいと思っています。今は油絵に取り組んでいますが、こういう漫画の方が人を感動させることができるかもしれないし、製品をデザインするほうがいいかもしれません。いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

コロナ禍にあって、音楽も含めて、芸術の意義を多くの人が感じたのではないのでしょうか。人が人間らしく生きていくためには、未来に対する希望が必要だと思うのですが、それを持たせてくれるのも芸術なのではないかと思います。美術の道に進もうと思ったきっかけは何でしたか。

私が中学生の頃、美術を専攻している学生に対するインタビュー映像の中で、将来を語っていたのを見て、自分も夢や目標のある人生を歩みたいと思うようになりました。

ところで、光陵高校に進学しようと思ったきっかけは何ですか。

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校にいたこともあり、親とも相談して、光陵高校から、美術系の大学を目指すことにしました。今は、光陵高校に来たことで、多くの人との出会いがあり、良かったと思っています。

美術部はどんな活動をしているのですか。

体育祭が実施できていればマスコット作りだったのですが、それは叶わず、夏休みからは文化祭に出す作品を作っています。12月には恒例の市バスイルミネーションにも取り組んでいます。今年は1年生が12人も入ってくれて、うれしく思っています。

将来の展望も含めて素敵な話をお聞きできてうれしく思います。将来は、多くの人に感動を与えられるような芸術の道を究めてほしいと願っています。今日はどうもありがとうございました。